

(特非) 古賀志山を守ろう会活動の記録

活動日	H31年1月10日(木)	活動場所	南コース梯子階段		
活動内容	落石による破損階段修理				
参加者	平野 昭夫	佐野 久雄	大出 忠	下田 克明	
	岩田 雄一	村田 鉄三	箕輪 幹夫	奈良 忠男	
	増田 弘文	斎藤 秀夫	三輪 健治	戸崎 博之	
	武井 収	池田 正夫			

古賀志山頂から張出す南稜からの落石により、南コースに前年9月に設置した梯子階段が破損したため今回その修理作業を行った。衝撃により梯子階段に位置のずれが生じたため、全体的に取り外し、破損個所を修理すると同時に階段の位置修正を行った。



階段修理終了後、南稜斜面に残る落石の危険のある岩を意図的に落とす作業を行った。斜面途中の樹木に辛うじて留まっている岩石を落として、不慮の落石による危険性を未然に防ぐ対策を行った。現在、宇都宮市が臨時的に「落石注意」の掲示物が張出されている。通行する登山者は意外に多く、掲示物の抑止力荷も限界があることが分かる。

今回の作業に限らず、会員が一致団結して、力を合わせて作業する姿は実に圧巻である。

[テキストを入力してください]